



きばりかもん

— 鹿児島为企业・顔・人・心 —

光（あかり）と私

国分電機株式会社

取締役工場長 中村隼人

国分電機は誘致企業として大阪からやって参りました照明器具を製造する会社です。私自身は故郷鹿児島で照明器具をどれだけ造れるか非常に疑問でしたが、早いもので鹿児島に帰って8年が過ぎました。昭和63年に35名でスタートした当初は表面処理の外注先がなく部品加工が出来ても完成品にならない事で仕事量を増やせない状態に悩みました。試行錯誤の末、カラー鋼板で本体を作り、宮之城のテックスさんに反射板の表面処理をお願いし、ダウンライトの完成品が出来上がり何とかやっていると目処がつかしましたが、大きな転機となったのは塗装を内製化した事です。塗装設備を持つことにより本体加工をプレス絞りにシフトすることができ、仕事量の拡大化が図れるようになりました。

当社社長は常日頃「夜がある限りあかりは必要である。そしてそこに仕事も生まれつづける。」と社員に言い続けています。照明器具のような多品種少量の世界は様々な面で難しく、量産体制をしている会社を見て何度羨ましく思ったかしれませんが、昨今の製造業の空洞化現象で量産製品は軒並み外国にシフトされる現実を見ますと多品種少量の道を選んで良かったと考えています。しかし照明器具は国内マーケットで多品種少量の世界が為に外国にシフト出来ないと安易な考えでいますと大変な事になります。私どもの努力で安易に外国にシフトされない加工技術を身につけ、そこに活路を見つけ出すことが急務だと考えています。

そんな中、工業技術センターをはじめとする地元公的研究機関が当社と一緒に技術開発に取り組んでいただける現状には大変感謝しております。困ったことがあれば工業技術センターに相談に行くことができ、鹿児島大学の先生方を紹介して戴き、センター・鹿児島大学の皆様と共同研究をさせて戴くことは20年余りの大阪生活では想

像も出来なかったことであり、鹿児島にきて本当によかったと実感しています。

平成7年11月、当社は中小企業創造活動促進法の認定を受け現在ダウンライトの主要部分である反射板のプレス加工化、専用インバーターの開発、シラスを使用した軽量照明用陶器の開発に取り組んでおります。その事で転換社債の発行や技術改善費補助金などの行政の支援も受ける事が出来ました。念願の試験設備等も揃いつつあり、平成9年度中には実用化の日処が立つのではと考えております。27年前、大阪で社長を含め4人で起した町工場での日々を考えると夢の様でもあり、又随分遠いところへ来たものだとも思います。現在社員が当社で114名、グループ全体では200名を超え、社員各々が育って来ていると実感できるようになりました。しかし当社が今後企業として乗り越えるべきハードルは高く、私どもの努力だけでは乗り越えられない面も多々あると思います。その事を考えると工業技術センターをはじめとする地元の皆様方の声援は大変ありがたく、心強く感じております。今後とも「鹿児島に来てあかりを造ることが出来て本当によかった。」と言い続けられるよう頑張っていきたいと思ひます。

最後に当社の経営の理念を紹介いたします。

「誠実をもって事に当たり、常に創意と努力を怠らず全ての向上を図る。全ての向上とは対外的には品質・納期・コスト低減であり、対内的には社風・利益・技術の向上そして社員の生活の向上である。」

プロフィール

生年月日：昭和20年2月11日

出身地：奄美出身

血液型：A型

モットー：創意は無限、改良は永遠

趣味：絵を描くこと